

笑心の郷 だより

令和5年6月号

〒707-0421
美作市川上30-1

多機能型介護ホームえーる
TEL78-0555

多機能型介護ホームはーと
TEL78-0558

基本理念：あなたの笑顔と夢を わたしの笑顔と夢で 心を込めて応援します



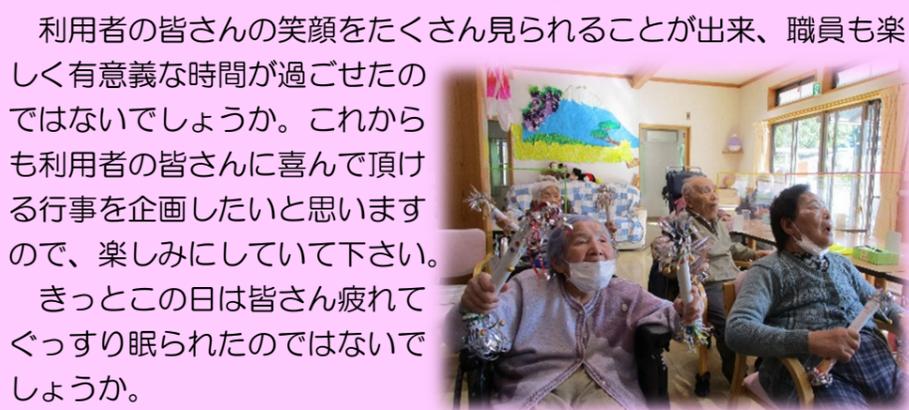
えーる



えーるでは5月25・27日と端午の節句の行事を行いました。子供の日にかぶとを飾ることから職員が折って作った立派なかぶとをかぶり、トーナメントによる端午の節句ゲームから始まりました。テーブルの両端に利用者さんに座って頂きお花紙で作ったしょうぶの花をうちわであおぎ、相手の方へ多く花びらを入れた方が勝ちというゲームです。利用者の皆さんは一生懸命うちわであおぎ、花びらのように舞う様子に「わあ、きれいじゃなあ」「頑張っ」と歓声を上げられ声援を送ってられました。職員同士の対決もあり、少しも手を抜くことなく必死の姿も見られ、利用者さんの笑顔を誘う場面もありました。その後はひとりひとりがかぶとをかぶって頂き写真撮影をし、休憩タイムには職員特製の手作りおやつを食べて頂きました。そしてもうひとつのゲームに挑戦です。こいのぼりのトンネルの中にゴルフボールを転がして得点のボックスに入れるゲームです。力の加減がとても難しいのですが、5球のボールを皆さん上手に操り得点をかせがれました。上手く得点がとれずに「あー、残念」「おしい！」などの声上がり、とても楽しい時間を過ごせたようです。最後は表彰式です。お楽しみ景品があるのですが、今回は優勝者ではなく、誰に当たるか分からないくじ引きをして頂き、引いた番号の方に景品を差し上げることにしました。午後からの時間だけでは足りないくらいの盛り上がりで「楽しかったわあ」との声も頂きました。



利用者の皆さんの笑顔をたくさん見られることが出来、職員も楽しく有意義な時間が過ごせたのではないのでしょうか。これからも利用者の皆さんに喜んで頂ける行事を企画したいと思いますので、楽しみにして下さい。きっとこの日は皆さん疲れてぐっすり眠られたのではないのでしょうか。



五月九日と十一日の二日間、はーとで五月の行事「端午の節句」を行いました。まずは、歌の合唱・合奏です。端午の節句にちなんだ「こいのぼり」「背くらべ」は皆さんで合唱し、五月にちなんだ「茶摘み」は鈴やカスターネットを使っの合奏をしました。次に魚釣りゲームをしました。ブルーシートを敷いた上にマグネットの付いた手作りの魚を竹竿で釣り上げるといゲームです。個人戦でしたが、皆さん大漁という感じでした。そして次に「鯉よ、大きくなあれ」というゲームです。これは鯉の口に見立てた筒に赤白玉をエサとして入れるという玉入れの応用編です。こちらはチーム戦でしたが、両チームとも勝ったり負けたりと、とても大接戦でした。

そして三時のおやつは半分に切ったどら焼きにチョコペンで鯉に見えるようペイントしました。「食べるのがもったいないなあ」と言いながらも皆さんペロリと食べられていました。

はーと



その後、昔を思い出しながら新聞紙でかぶとを作りました。折りながら「子供の頃に作ったわ」とか「息子に折ってやったわ。懐かしいわ」との声が聞かれました。これからも楽しい行事を考えておられますので、元気に参加して頂ければと思います。

今月のお食事

今回の献立は、押し寿司です。握り寿司、巻き寿司、散らし寿司と色々なお寿司があります。押し寿司とは方形の型の中に、酢飯と具材をサンドイッチの様に重ねて敷きつめて押し固め、切り分けて食べるお寿司です。甘いそばろと酢飯の相性がとても良く、上に乗せた炒り卵の黄色、えびそばろの薄ピンク色、絹さやの緑色がとても鮮やかで、見た目も食欲をそそります。酢に含まれるクエン酸の疲労回復効果もあり、これからの季節にピッタリな献立だと思えます。